

赤潮被害、

国へ陳情

町を元気に、夏祭り

6月中旬に八代海で発生した赤潮が、本町海域にある養殖ブリの生簀を直撃し、深刻な被害が発生したことを受け、7月28日、国に対して赤潮被害からの復興支援に向けた陳情を行いました。

産省山本啓介政務官の元を訪れるなど、各省庁を訪問しました。財務省では、片山さつき財務大臣と直接面会することが叶い、赤潮被害の現状報告と埋設処理などに関わる費用負担を切に要望。現場の実情を説明し、国による「赤潮被害緊急支援事業（総事業費4860万円）」および「緊急雇用事業（同15000万円）」への支援を求めました。

片山財務大臣からは、「赤潮被害の深刻さは十分理解している。支援に向けてしっかり検討していきたい」と心強い回答を受けました。



片山財務大臣（写真中央）へ支援を要請



6月の赤潮被害の様子



堀内さんの「納豆浪漫唄」で一緒にダンス



フラダンスで観客を魅了



夜空を彩った打ち上げ花火



夏まつりといえばかき氷



客席でパフォーマンスを見せる光岡さん

7月25日、あづま海水浴場で「サマーフェスティバルinながしま2026・夏まつり納涼大会」が開催され、夏の風物詩を楽しもうと約800人が集まりました。

開会式では、観光協会の波戸正和会長が「歌手の光岡洋さんと堀内春菜さんの歌やたくさんのお店を楽しんでほしい」とあいさつ。海辺に設けられた特設ステージでは、町内外の個人団体による、歌やダンスのパフォーマンスに観客席からたくさん拍手が贈られ、終盤の打ち上げ花火が夜空を彩り会場は大いに盛り上がりました。

お楽しみ抽選会で一等賞のポータブル冷蔵庫が当たった樋渡陵太さん（鷹巣小3年）は「一等が当たってうれしい。家で使いたい」と笑顔で話しました。